第9回鳥取県トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会 議事概要

平成30年3月15日(木) 13:30~15:30

鳥取労働局 4階 大会議室

出席者名簿:別紙のとおり

### I. 開会

<今回の協議会に当たって>

座長より、現段階において、パイロット事業に参加する全ての事業者から実名公表の承 諾を得られていないこと等を踏まえ、前回同様に会議は非公開とする旨、提案あり。

→ 各委員了承

### Ⅱ. 議題

1. 平成29年度パイロット事業の取組み状況について 資料により説明(株式会社日通総合研究所 大島 Unit Leader) -省略-

### 2. 報告事項

(1) 第8回トラック輸送取引環境・労働時間改善中央協議会の概要 資料により説明(鳥取運輸支局 竹谷首席)-省略-

# 3. 意見交換

パイロット事業の取組み状況の説明や報告事項等を踏まえ、各委員による意見交換が行われた。

### <主な意見>

- ○パレットの活用にあたっては、自己保有とレンタルが考えられるが、どちらが良いかは、様々な条件で比較検討を行い判断する必要があるため、一概には言えない。その場の状況に応じて上手く組み合わせ等していくことが望ましいやり方なのではないかと思う。(コンサルタント)
- ○大型車2台をやり繰りして改善策に至ったことは、パイロット事業の成果の一つであると思う。当事者がいろいろと工夫され改善の方向に進んだと思う。(学識経験者)
- ○パレットの規格が異なるため、やむなく、手積み・手卸しを行っているのが現状である。(トラック事業者)

- ○パレットのサイズの統一化を図っていくことが大事。また、パレットにタグを埋め込み、ITを活用することで、誰のパレットなのか、すぐに分かるような仕組みができれば、全国的な使い回しの可能性も考えられる。将来的にそういった方向に進んでいくと良い。(学識経験者)
- ○運送事業者が荷主に対して相談等する際には、自社の事情だけでなく、現在の世の中の状況や流れも併せて説明し、粘り強く理解を求めていくことが大事ではないかと思う。(コンサルタント)
- ○到着バースの予約システムの導入や、荷主側から出荷にかかる情報を事前に運送事業者に知らせる等の少しの努力によっても、トラックドライバーの拘束時間を減らすことができるのではないかと感じた。しかしながら、トラック輸送における荷主と運送事業者の力関係では、依然として荷主の方が強いのだろうと思うところ。海上輸送のコンテナ船においては効率よく短時間で大量のコンテナを積み込む。それは積込みが長時間にわたるとバースの使用料が高くなってしまうことが主な理由。トラックは少しくらい待たせても、荷主の費用負担にはならないというのが昔からの慣習となっているのではないか。(学識経験者)
- ○建設資材など、到着側の現場での作業工程の進捗具合により、待ち時間が長くなることも十分に考えられる。(学識経験者)
- ○農水産物の場合、荷主に対し荷卸し時間の短縮のお願いをしても、実際には、市場に 到着した順番で荷卸しすることとなるため、待ち時間が長くなってしまうことも多 い。(トラック事業者)
- ○業種によっては多くの企業がジャストインタイムといった取組みをしているところもある。商品の供給元として、大本のお客様のニーズに応じて荷を届けるためには、トラック輸送や鉄道・海上輸送等を上手く活用しながら対応しているのが現状。そうした事情もある中で、トラック輸送の環境改善を考えていくにあたっては、私共としても動きやすくなるような方向性が見つけられると良いと思う。(荷主)
- ○鳥取県は農水産業や部品供給メーカーが多い県でもあろうかと思う。鳥取県における物流の状況や取扱い貨物の特性等を踏まえ、これに見合った効率的なやり方や、 県内ドライバーの負担軽減等を図っていくためにはどうすれば良いかを、これまで の本県及び他県等での事例やコンサルティング事業の取組み等を参考にしながら議 論していければと思う。そういった内容の提言ができればと思う。(学識経験者)

- ○ジャストインタイムという言葉が長年使われてきているが、現在、世の中には多種多様な商品(荷物)が溢れており、昨今のトラック業界の状況を考えたとき、今後も継続的に対応できるか些か疑問のところもある。そろそろメーカーやお客さんにもこの仕組みについて軌道修正等をしていただきたいと思う。その方がより安全安心な商品を安定供給できるのではないかと思う。(トラック事業者)
- ○ジャストインタイムを採用する業界にあっては、着荷主は在庫を保有しない。製造の 都合で供給する側への発注量が減った場合であっても、トラック事業者は少ない荷 物でも運ばなければならず、また、供給元(発荷主)は在庫を多く抱えるという形に もなっている。全体的に見ると、デメリットの面が大きいような気もする。(荷主)

# 《座長》

来年度は、鳥取県の取扱い貨物の状況に焦点を当てながら、時間短縮の方策について 議論を進めていきたいと思います。

現在のトラック運送事業は、低賃金で非常にきつい労働環境であることから、ワークライフバランスが取れた労働環境にしていく必要があろうかと思っています。

ご家庭をお持ちのドライバーの方は、朝出勤して、夕方帰宅し、家族と一緒に食事ができるようなライフスタイルになれば、ドライバーも増えていくのではないかとも思われます。

また、他方で、通販等における「送料無料」や不在の際の「再配達」にも、現実には お金が掛かっているという認識を一般の方々にも持っていただく必要もあろうかと 思います。そうしたところは、中央での議論等にも期待することとしながら、私共、 鳥取県の協議会としては、鳥取県のドライバーがたくさん増えてくれるような仕組 み作りを、来年度、皆様と一緒に考えていければと思います。

皆様のご協力をお願いします。

### Ⅲ. 閉会